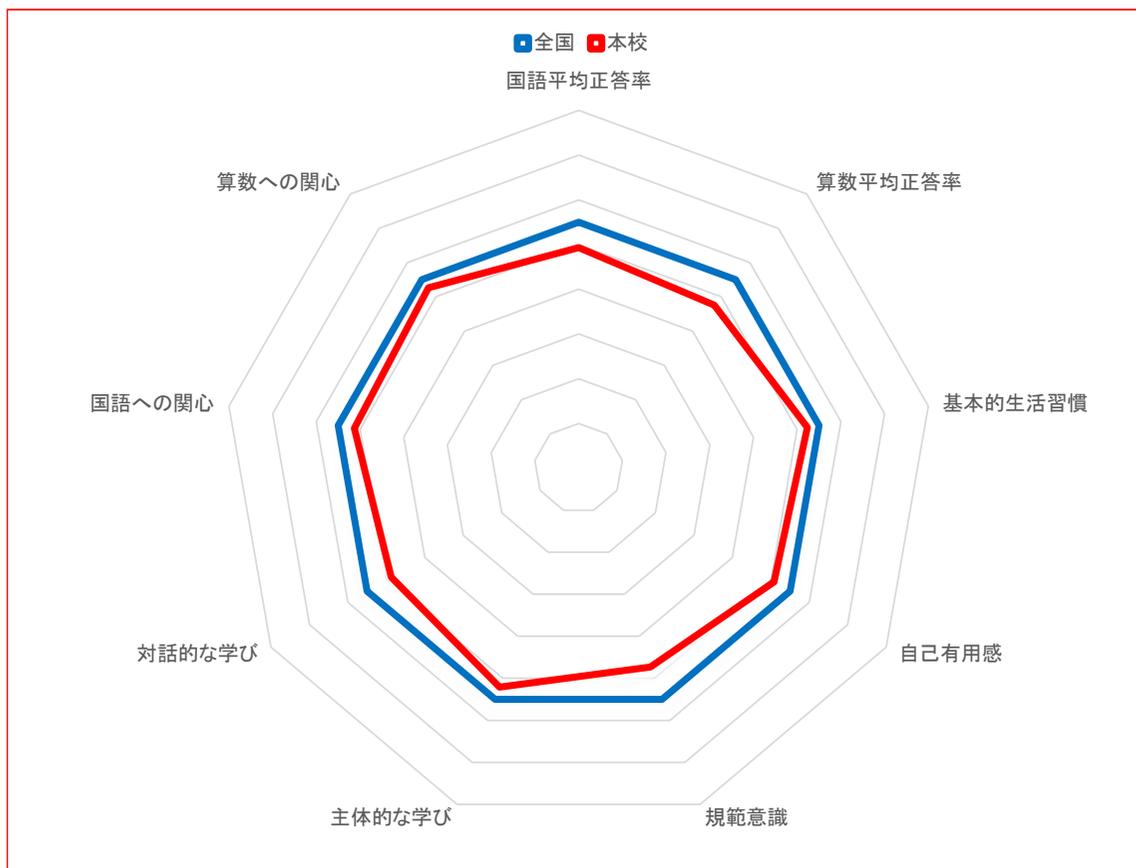


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果における課題分析表（大杉第二小学校）

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子



<全国と本校の平均正答率>

国語	全国 67.7%	本校 60%	東京都 70%
算数	全国 63.4%	本校 54%	東京都 68%

《現状と解決策～国語～》

目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係付けたりすることに苦手傾向が見られました。授業の中で、書いてある文章を事実と意見に分け、主語と述語を意識して読んでいくようにしていきます。他にも、長い文章のまとめごとに小見出しを付けることで、何について書かれているのかを明確にできるようにします。そうすることで、問題に取り組む際、読むところを絞ることができるようにしていきます。正答率上げるためには、日々の学習での積み重ねが大切になります。また、想像力が豊かになるように、読書科の時間を充実させていきます。

《現状と解決策～算数～》

文章を読み解き、場面を想像して解くことに苦手傾向が見られました。算数科の授業では、「何を問われているか」「分かっていることは何か」「使える数値や条件の確認」「知りたいことは何か」を明らかにしながら、課題解決に導いていきます。また、ノートや教科書に書き込みながら順を追って確認し、用語の意味をきちんと復習したうえで、課題に取り組みめるようにしていきます。子どもの「分かった!」「もっと考えたい!」を引き出し、自力解決に向けて、既習事項をもとに課題解決できるように、授業を考えていきます。

《家庭へのお願い》

家庭と学校が一体となって、児童の学力向上を目指していきたくて考えています。家庭では、児童の学習状況を把握するために、スキルやノートに目を通していただきたいと思います。学習状況を学校と家庭とで把握することで、児童にどのようなアプローチをしていけばよいかを、2つの立場から考えていきます。